

第1日目 9月29日 (金) 午後

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	〈交通〉	〈観光・土地利用〉
13:00	101 小畑さいち* (日本専門家活動協会)・米本仁(東京電機大・院) : 東京・神奈川郊外・駅の路線結節性と商業集積からの広域性評価	201 北田晃司 (近畿大・非常勤) : 和歌山県および香川県における国際観光の動向と展望
13:20	102 櫛引素夫 (青森大) : 整備新幹線開業に伴う地域間連携の変化—信越・青函地域の事例	202 塩崎大輔* (北海道大・院)・橋本雄一 (北海道大) : 建築確認申請データからみた1975年以降におけるニセコエリアの開発
13:40	103 原 雄一 (京都学園大) : クラウドGISによるロストライン (廃線跡) ツーリズム	203 SU Guandong (Hiroshima Univ., Grad Student): Geographical Study of the Spatial Patterns and Determinants of Farmland Abandonment at the Former Municipality Level in Japan
	〈開発〉	〈農林業・農山村〉
14:00	104 生井澤幸子 (川村学園女子大) : ドイツの港湾都市と外港の開発	204 中川秀一 (明治大) ほか: 愛媛県における入会林野再編の現在—集团的林野経営の課題
14:20	105 WANG Ruci (Univ. of Tsukuba, Grad Student): Modeling Land Use Scenario Dynamics Based on Land Use/Cover Change in Tianjin City	205 石原 肇 (大阪産業大) : 堺市にみる市民農園等の多様性
14:40	106 保谷忠男: 風力発電の特性に由来する問題事例	206 谷口晴彦 (京都大・院) : 農業用水の維持管理に対する行政支援の地域差—光明池土地改良区における水利施設の改修を事例に
	〈都市・政治〉	〈地理教育〉
15:00	107 田村史記 (ソウル大・院) : 店舗権利金に関する日韓両国の判例の差異	207 長谷川直子 (お茶の水女子大) : 地理学のアウトリーチの手段としてのご当地グルメ絵葉書の効果
15:20	108 日野正輝 (中国学園大) ほか: デリー都心部になぜ高層ビルが建設されないのか—その意味と大都市圏の空間構造に及ぼす影響	208 春日千鶴葉* (奈良教育大・院)・岩本廣美 (奈良教育大) : 大和の伝統野菜に関する教材開発研究
15:40	109 李 阿敏 (島根大・院) : 松江市におけるマンション開発と都市内人口移動—県立高校の通学区制度を中心に	209 河本大地 (奈良教育大) ほか: へき地小規模校を維持・発展させる沖縄県国頭村の教育システム—持続可能なへき地教育の体系の構築に向けて
	〈都市文化〉	
16:00	110 中川紗智 (筑波大・院) ほか: 地方都市の都市機能に果たす盛り場の役割—茨城県土浦市を事例として	210 黒田圭介* (西南学院大・非常勤)・宗 建郎 (志学館大) : 調査結果を「ゆるキャラ」作成でまとめる小学校生活科教育に主眼を置いた地理巡検実践報告
16:20	111 池田真利子 (学振PD・東京学芸大) : 東京におけるナイトライフ研究の可能性	211 谷 謙二* (埼玉大)・斎藤 敦 (埼玉大・院) : 高等学校におけるGIS利用の現状—「地理総合」を視野に
16:40	112 須崎成二 (東京学芸大・院) : ゲイ男性のアイデンティティとコミュニティに都市空間が果たす役割	212 山内啓之 (東京大) ほか: GISの実習用オープン教材の一般公開に向けた改良
17:00		

第1日目 9月29日 (金) 午後

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
<p>〈地図・GIS〉</p> <p>301 林 泰正 (中部大・院) : 近代の岐阜県可児市・土田湊における土地所有変遷</p> <p>302 古関大樹 (京都女子大・非常勤) : 大阪市役所に現存する明治の地籍図</p> <p>303 飯沼健悟 (岐阜県土地家屋調査士会) : 岐阜県の地籍編製事業と公図との関係</p> <p>304 堀江瑠子*・海津 優 (パスコ) : 多目的地籍とLADMの比較検討およびその応用についての考察</p> <p>〈地図・測量〉</p> <p>305 宇都宮陽二郎 (三重大名誉教授) : 画像の中の地球儀 (その3) 米国大統領の地球儀—もう一人のメガロマニア, テオドア ルーズベルト</p> <p>306 細井將右 (地図情報研) : 19世紀コダッシュによる南米北部の地図作成</p> <p>307 野上道男: 古代中国の緯度測量法</p> <p>〈社会・福祉〉</p> <p>308 谷本 涼 (京都大・学振DC) : 大阪都市圏北部における病床へのアクセシビリティの将来推計</p> <p>309 秋山吉則 (佛教大・院) : 通信制高校における学習センターの都市内部での立地</p> <p>310 南 泰代 (奈良女子大・院) : 巨大化する「認定こども園」の子どもにとっての適正規模</p> <p>311 加茂浩靖 (日本福祉大) : 名古屋地域における介護施設の職員採用</p>	<p>〈エスニックマイノリティ〉</p> <p>401 菅原考史 (筑波大・院) : タイ・チョンブリ県シラチャ郡における日本人の生活空間の形成</p> <p>402 宋 弘揚 (東京大・院) : 送り出し機関の戦略が中国人技能実習生に与える制約と可能性—中国山東省青島市を事例に</p> <p>403 福本 拓 (宮崎産業経営大) : 在日朝鮮人自営業者の空間的分布と集住地区との関連性—1980年代以降の大阪を事例に</p> <p>〈海外地誌〉</p> <p>404 堤 純 (筑波大) : ギリシア系移民のセンターとしてのオークレー—ギリシア系コミュニティの役割に着目して</p> <p>405 大石太郎 (関西学院大) : カナダ, 沿海諸州におけるアカディアン文化と観光の発展</p> <p>406 樋口忠成 (大阪産業大名誉教授) : 2016年アメリカ大統領選挙にみるアメリカの地理的分断</p> <p>〈伝統文化〉</p> <p>407 貝沼良風 (新潟大・院) : 埼玉県秩父市荒川白久地区における天狗祭りの再生と中断</p> <p>408 宮瀧智佳子 (立教大・院) : 徒歩巡礼の維持と変容—秩父三十四か所巡礼を事例に</p> <p>409 高野 宏 (岡山大) : 無形文化遺産「壬生の花田植」の伝承・公開をめぐる組織体制</p> <p>〈歴史・文化〉</p> <p>410 伊藤達雄 (三重大名誉教授) : 松浦武四郎の幕末北方地域踏査記録の評価</p> <p>411 島倉聖朗 (横浜市立大・院) : 太平洋航路における日本郵船と東洋音楽学校との「船の楽土」供給体制の分析</p> <p>412 山根 拓 (富山大) : 前田正名の地方産業振興策と地域形成—「五二会資料」の分析から</p>	<p>13:00</p> <p>13:20</p> <p>13:40</p> <p>14:00</p> <p>14:20</p> <p>14:40</p> <p>15:00</p> <p>15:20</p> <p>15:40</p> <p>16:00</p> <p>16:20</p> <p>16:40</p> <p>17:00</p>

第1日目 9月29日 (金) 午後

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
	〈災害〉	〈水文〉
13:00	501 川村 壮* (北海道大・院)・橋本雄一 (北海道大) : 積雪寒冷地の港湾都市における建物立地と津波からの避難行動に関する空間分析	601 大八木英夫 (日本大) ほか: 富士山北麓湖沼の水温・水質の季節変動について
13:20	502 岩井優祈 (筑波大・院) : 津波の侵入速度を考慮した4Dハザードマップの作成とその有用性	602 沼尻治樹 (日本測量協会) : 人工知能を用いた流域水収支モデルのパラメータの自動最適化
13:40	503 佐野浩彬 (筑波大・院) : 東日本大震災以降の津波対策に対する行政と住民の相互関係ー浜松市西区での津波避難に対する取り組みを事例に	603 泉 岳樹 (首都大) ほか: 無人航空機(UAV)を用いた積雪深分布の推定と検証ー2017年の新潟県巻機山麓での事例解析
14:00	504 吉次 翼* (慶應義塾大)・矢ヶ崎大洋 (筑波大・学振DC) : 将来の津波災害に備えた公共施設の高台移転をめぐる動向	〈環境システム〉
14:20	505 吉村健司 (東京大) : 岩手県沿岸地域における動物飼養碑についてー東日本大震災以降の現状	604 山川大智* (首都大・院)・泉 岳樹 (首都大) : UAV (無人航空機)による露頭の3次元モデル作成の試みー箱根ジオパーク長尾峠を対象に
14:40	506 安藤竜介 (大阪大・院) : 阪神・淡路大震災によって被災した商店街における商店主の意思決定	605 濱 侃 (千葉大・学振DC) ほか: UAVリモートセンシングによる水稲のフェノロジー観測
15:00	507 岩船昌起 (鹿児島大) : 霧島山2008年8月22日遭難事故のパーソナル・スケールでの地理学的考察	〈植生〉
15:20	508 中埜貴元 (国土地理院) : 宅地盛土の地震時安全性評価パラメータの改良	606 藤本 潔 (南山大) ほか: マングローブ主要構成種の細根生産・分解速度ー熱帯中核域と亜熱帯域の比較研究
15:40	509 池田真幸 (防災科研) ほか: 2017年7月九州北部豪雨災害の初動対応におけるオルソ画像を用いた情報支援 (速報)	607 吉田圭一郎* (横浜国立大)・比嘉基紀 (高知大) : モミーヌブナ林における林冠優占種の分布と共存
16:00	〈熊本地震〉	608 祖父江侑紀 (千葉大) ほか: モンゴルにおける草本植物のフェノロジー変動とその要因
16:20	510 坪井壘太郎 (人と防災未来センター) : 熊本地震における自治体の災害対応に関する研究ー熊本県阿蘇郡西原村を事例として	〈乾燥地災害〉
16:40	511 宇根 寛 (国土地理院) ほか: 平成28年熊本地震に伴い阿蘇外輪山北西部に現れた「地震断層」の分布とその性質	609 篠田雅人 (名古屋大) : 乾燥地災害学の体系化 (1) 総括
17:00	512 金 幸隆*・長井瑞樹 (大阪市立大) : 熊本地震に伴う阿蘇カルデラ内に出現した大規模亀裂帯の形成場と性状	610 立入 郁 (海洋研究開発機構) ほか: 乾燥地災害学の体系化 (2) 家畜体重プロセスモデルの可能性

第1日目 9月29日 (金) 午後

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
<p><気候></p> <p>701 小林 茂 (大阪大名誉教授) : 近代日本の気象観測網の拡大と中国沿岸気象サービス</p> <p>702 久保田尚之 (北海道大) : 日本近海でのモンスーンジャイヤの形成と台風活動—2016年, 1950年の事例</p> <p>703 菅野洋光 (農研機構) ほか: インドネシアにおける作物生産性とIPOに関連した気候ステージとの関係</p> <p>704 関 陽平*(三重大・院)・立花義裕(三重大): 気温前日差の気候学的見解</p> <p>705 中川清隆*・渡来 靖(立正大): 稚内・館野・南鳥島における圏界面高度・温度および対流圏気温減率の最近30年間の年変化および経年変化</p> <p>706 松本健吾 (岡山大・院) ほか: 長期データからみる東日本の梅雨最盛期における多降水年の特徴に関する気候学的解析</p> <p>707 谷岡能史 (豊岡市役所) : 豊岡市出石町「御用部屋日記」の天候記録</p> <p>708 藤部文昭 (首都大) ほか: 日別データから見た熱中症死亡率と気温との関係</p> <p>709 一ノ瀬俊明 (国立環境研) ほか: 夏季晴天日に行われた東京における航空機観測と同期した地上温熱環境モニタリング</p> <p>710 三上岳彦 (帝京大) ほか: 都市部における短時間強雨とヒートアイランド, 熱的低気圧発生との関連—2015年7月24日の事例解析</p> <p>711 瀧本家康* (神戸大附属中等教育学校) ・重田祥範 (鳥取環境大) : 秋季晴天静穏日における兵庫県神戸市の局地風系と気温変化に関する事例解析</p> <p>712 榊原保志*(信州大)・森 康洋(飯田市役所): 長野県飯田市における地上と上空の気温分布</p>	<p>シンポジウム 3 (公開)</p> <p>ジオパーク活動における地理学専門員の必要性</p> <p>日本地理学会ジオパーク対応委員会</p> <p>開始時間 13:00</p> <p>〔趣旨説明〕 柚洞一央 (徳山大)</p> <p>S301 13:10-13:30 齊藤清一 (日本ジオパークネットワーク) ほか: ジオパーク専門員の属性と活動実態—持続可能な地域づくりに向けて果たす多面的な役割</p> <p>S302 13:30-13:50 坂口 豪 (浅間山ジオパーク推進協議会) : ジオパーク申請前から申請にかけての立場</p> <p>S303 13:50-14:10 上野莉紗 (三笠ジオパーク推進協議会) : ジオパーク活動において人文地理学という専門性をどう活かすか</p> <p>S304 14:20-14:40 中村有吾 (室戸ジオパーク推進協議会) : 室戸ユネスコ世界ジオパークにおける地理学専門員</p> <p>S305 14:40-15:00 中川理絵 (栗駒山麓ジオパーク推進協議会) : 専門を活かしたジオパークでの防災教育 (副読本作成など)</p> <p>S306 15:00-15:20 柚洞一央: 課題山積のジオパーク—解決に向けて地理学ができること</p> <p>〔総合討論〕 15:30-16:30</p> <p>終了時刻 16:30</p>	<p>13:00</p> <p>13:20</p> <p>13:40</p> <p>14:00</p> <p>14:20</p> <p>14:40</p> <p>15:00</p> <p>15:20</p> <p>15:40</p> <p>16:00</p> <p>16:20</p> <p>16:40</p> <p>17:00</p>

第1日目 9月29日 (金) 午後

開始時刻	第 9 会 場	
	〈地域振興〉	
13:00	901 山本健兒 (帝京大) : グローバリゼーションの下での人口小規模地域の経済再活性化ーイス、シャフハウゼン州の事例	
13:20	902 福田 峻 (東京大・学振DC) : 分野間の連携による政策遂行の単位としての経済圏域の検討	
13:40	903 岡田 登 (鹿児島県立短大) : 鹿児島市におけるパルイベントを通じた地産地消の取組	
	〈地域資源〉	
14:00	904 西浦尚夫* (三重大・院)・朴 恵淑 (三重大) : 四日市萬古焼産地における土鍋の市場戦略	
14:20	905 廣瀬俊介* (東京大)・奥脇嵩大 (青森県立美術館) : 地理学を生かした地域文化振興 #2ー青森県立美術館企画「青森EARTHアウトリーチ」における住民との地域環境形成研究を例として	
14:40	〈人口・行動〉	
	906 藤 媛媛 (愛知大) : 中国における都市新市区の住民の移動パターンと理由ー江西省南昌市の事例	
15:00	907 小池司朗*・中川雅貴 (社人研) : 都道府県別にみた近年の外国人の人口移動パターン	
15:20	908 上杉昌也 (学振PD・立命館大) : 日本の都市における社会階層分極化と都市内居住分化の関係	
15:40	909 北島晴美 (信州大) : 東日本大震災被災県における死亡率の変化傾向 (その2)	
16:00		
16:20		
16:40		
17:00		

第2日目 9月30日（土）午前

第 6 会 場	第 7 会 場	開始時刻
<p>〈防災・地理教育〉</p> <p>621 熊谷圭知（お茶の水女子大）：お茶大「陸前高田実習」の6年一わたしたちは被災地に何を学んだか、何を還せるのか？</p> <p>622 黒木貴一（福岡教育大）：学校を利用した災害避難を想定した地図学習</p> <p>623 村山良之*・八木浩司（山形大）：山形大学の小学校教員養成課程における防災教育</p> <p>624 岡本耕平*（名古屋大）・佐藤久美（金城学院大）：外国籍住民のための地域日本語教室と防災への役割</p> <p>625 澤田康徳（東京学芸大）：養護教諭の暑熱に対する関心の契機と認識—熊谷市の小・中学校を対象として</p> <p>626 山本政一郎*（福井商業高）・尾方隆幸（琉球大）：高等学校「地理」「地学」教科書の用語問題の分析</p>	<p>〈海外農村〉</p> <p>721 田林 明（筑波大名誉教授）ほか：カナダ・ブリティッシュコロンビア州のクートニー地域における有機農業の発展にみる農村空間の商品化</p> <p>722 矢ヶ崎典隆（日本大）：カリフォルニアにおけるテンサイ糖産業と移民—スプレックルズとオックスナードに着目して</p> <p>723 山本 充（専修大）ほか：オーストリア・チロール農山村におけるドイツ人による二地域居住の進展</p> <p>〈文化生態〉</p> <p>724 永迫俊郎（鹿児島大）：集落の中心としての湧水の役割—清水の湧水とジッキョヌホーの比較研究</p> <p>725 高木 仁（国立民族学博物館）：カリブ海の人々とウミガメ（1）</p> <p>726 池谷和信（国立民族学博物館）：熱帯アジアの家畜生産と流通に関する研究動向</p>	<p>9:00</p> <p>9:20</p> <p>9:40</p> <p>10:00</p> <p>10:20</p> <p>10:40</p> <p>11:00</p> <p>11:20</p> <p>11:40</p> <p>12:00</p>
<p>昼 休 み</p>		

第2日目 9月30日(土) 午前

開始時刻	第 8 会 場	第 9 会 場
	シンポジウム 4 (公開)	シンポジウム 2 (公開)
9:00	田園回帰と地理学理論	2022年地理総合を踏まえた 教育環境づくり
	日本地理学会理事会	日本地理学会地理教育専門委員会
9:20	オーガナイザー：小島泰雄（京都大）・ 筒井一伸（鳥取大）	司会：河合豊明（品川女子学院中高）
	[趣旨説明] 9:00-9:15	[趣旨説明]
9:40	S401 小島泰雄*・筒井一伸：シンポジウム「田園 回帰と地理学理論」の視園	S201 9:00-9:10
	[田園回帰の実態] 座長：筒井一伸	田村賢哉（NPO法人伊能社中）：2022年地 理総合を踏まえた教育環境づくり—高校地理 必修時代の「地理・地図」普及啓発シンポジ ウムの一環として
10:00	S402 9:15-9:30 嵩 和雄*（NPO法人ふるさと回帰支援セン ター）・藤井理江（三重県庁）：地方移住の 意義と三重県の実態	[招待講演] 9:10-9:40 宮路秀作（代々木ゼミナール地理講師）
	S403 9:30-9:45 佐久間康富（和歌山大）：住み継がれる集落 をつくる—日本建築学会での議論から	[基調講演] 9:40-10:10
10:20	[地理学の視角]	S202 井田仁康（筑波大）：地理総合と教育環境
	S404 9:50-10:05 立見淳哉*（大阪市立大）・筒井一伸：「田 園回帰」からもう一つの経済へ—連帯経済と の接点を探る	S203 10:10-10:30 竹内裕一（千葉大）：「地理総合」を見通した教 員研修のあり方—NPOと連携したフィール ドワークの指導
10:40	S405 10:05-10:20 中川秀一（明治大）：農村空間の商品化と 「田園回帰」	S204 10:30-10:50 野々村邦夫（日本地図センター）：日本地図 センターによる地理教育支援
11:00	S406 10:20-10:35 磯田 弦（東北大）：田園回帰は反都市化の さきがけか？	S205 10:50-11:10 東 桂子（藤沢市立秋葉台中）：行政とコラ ボした教育環境づくり
11:20	S407 10:35-10:50 中條暁仁（静岡大）：農山村の高齢社会化と 田園回帰の可能性	[総合討論] 11:15-11:50
	[コメント] 10:55-11:15	[総評] 11:50-11:55
11:40	宮口侗迪（早稲田大名誉教授） 金 料 哲（岡山大）	[閉会挨拶] 太田 弘（慶應義塾普通部）
	[総合討論] 11:15-12:00 司会：小島泰雄	
12:00	昼 休 み	

第2日目 9月30日（土）午後

第 5 会 場	第 6 会 場	開始時刻
シンポジウム 5	シンポジウム 6	
地域課題の発見から解決に向けた 地理学と隣接分野のアプローチ	インバウンド・ツーリズムの発展を 地理学で考える	13:00
オーガナイザー：秋山千亜紀（筑波大）・ 秋山祐樹（東京大）・駒木伸比古（愛知大）	オーガナイザー：呉羽正昭（筑波大）・フंक カロ リン（広島大）・有馬貴之（帝京大） 日本地理学会観光地域研究グループ	13:20
開始時刻 13:00	開始時刻 13:00	13:40
S501 13:00-13:10 秋山千亜紀（筑波大）ほか：地域課題の発見 から解決に向けた地理学と隣接分野のアプ ローチ（趣旨説明）	S601 13:00-13:15 座長：有馬貴之 呉羽正昭ほか：インバウンド・ツーリズムの 発展を地理学で考える（趣旨説明）	14:00
S502 13:10-13:40 加藤博和（名古屋大）：地域公共交通が地域 を救うために—空間データ整備がカギ	S602 13:15-13:35 小島大輔（長崎国際大）：ゲートウェイから みた日本におけるインバウンド・ツーリズム の時間的・空間的な発展傾向	14:20
S503 13:40-14:10 葛城友香*・廣瀬典和（ヤフー）：福井県鯖 江市における「バス乗客リアルタイムオープ ンデータシステム」の事例紹介	S603 13:35-13:55 フंक カロリン：中国地方におけるインバ ウンド・ツーリズムの空間的拡大	14:40
S504 14:10-14:30 秋山祐樹：公共と民間の地理空間情報を活用 した地域課題解決の取り組み—鹿児島県鹿 島市と群馬県前橋市における取り組みの事例	S604 13:55-14:15 杜 国慶（立教大）：ビッグデータにみる訪 日外国人旅行者の空間構造	15:00
S505 14:30-14:50 駒木伸比古：民官学の協同による地域課題へ のアプローチ—地方都市での「まちづくり活 動」の経験を通じて	S605 14:15-14:35 市川康夫（学振PD・明治大）：中山道を歩 くインバウンド・ツーリズム—欧米系ツー リストの文化観光への意識に注目して	15:20
[総合討論] 15:10-16:45 司会：秋山千亜紀	S606 14:35-14:55 座長：フंक カロリン 有馬貴之：箱根における外国人観光客と地域 の対応	15:40
[総括] 戸田敏行（愛知大）	S607 14:55-15:15 呉羽正昭：日本のスキーリゾートにおけるイン バウンド・ツーリズムの発展—複数リゾ ートの比較分析	16:00
終了時刻 17:00	S608 15:15-15:35 杉本興運*・菊地俊夫（首都大）：知多半島 におけるインバウンド観光の現状と課題	16:20
	S609 15:35-15:55 安 哉宣（静岡英和短大）：訪日韓国人旅行 者における韓国系旅行ビジネスの役割	16:40
	[総合討論] 16:10-16:40 座長：呉羽正昭・フंक カロリン・有馬貴之	17:00
	終了時刻 16:40	

第2日目 9月30日 (土) 午後

開始時刻	第 8 会 場	第 9 会 場
	シンポジウム 1 (公開)	地理教育公開講座
13:00	四日市公害訴訟判決45周年公開シンポジウム 四日市公害の教訓と アジアの国際環境協力	「地理総合」と国際理解・国際協力
13:20	日本地理学会理事会 共催) 三重大学地域ECOシステム研究センター	日本地理学会地理教育公開講座委員会 共催) 日本地理教育学会
13:40	オーガナイザー：朴 恵淑・宮岡邦任・ 水木千春 (三重大) 日本地理学会環境地理教育研究グループ・ 水と人の地誌研究グループ	
	開始時刻 13:00 司会：水木千春 (三重大)	開始時刻 13:00
14:00	[趣旨説明] 朴 恵淑 [挨拶] 森 智広 (四日市市長)・九鬼紋七 (100年伝 統継承倶楽部会長)・木室啓治 (西日本閉鎖 性海域連携推進機構代表理事)	松井圭介 (筑波大)：「地理総合」と生活・ 文化から見た世界の多様性 永田成文 (三重大)：「地理総合」における 国際理解の授業
14:20	[第1部] 四日市公害の過去・現在・未来を考える S101 13:20-13:35 朴 恵淑：四日市公害から学ぶ「四日市学」	山内洋美 (宮城県塩釜高)：「地理総合」に おける国際協力の授業
14:40	S102 13:35-13:50 伊藤達雄 (三重大名誉教授)：四日市公害に 学ぶ都市地域構造論	[コメント] 戸井田克己 (近畿大)・安藤 清 (千葉敬愛大) [総括] 浅川俊夫 (東北福祉大)
15:00	S103 13:50-14:05 生川貴司 (四日市市環境部)：四日市公害と 環境未来館の役割	終了時刻 16:00
15:20	S104 14:05-14:20 竹内 望 (ICETT)：公益財団法人国際環境 技術移転センター (ICETT) の国際環境協力	
15:40	S105 14:20-14:35 朴 恵淑・野田之一* (四日市公害語り部)： 四日市公害を語る	
16:00	[第2部] アジア諸国の環境問題を考える S106 14:35-14:50 宋 苑瑞 (法政大・非常勤)：韓国環境問 題—近年の大気汚染を事例に	
16:20	S107 14:50-15:05 谷口智雅 (三重大)：中国における環境意識 —PM2.5と水環境の意識アンケート調査	
16:40	S108 15:05-15:20 森永由紀 (明治大)：モンゴル国の環境問題 2017 S109 15:20-15:35 安食和宏 (三重大)：ベトナムの環境問題— マングローブ林の変遷と今日的課題	
17:00	[パネル討論] 15:50-17:00 コーディネーター：朴 恵淑 (三重大)	
	終了時刻 17:00	

第1・2日目 9月29・30日 (金・土)

第10会場 (ポスター発表)

ポスター発表は、9月29日(金)13～18時までと9月30日(土)9～12時まで、第10会場で行います。発表者による説明は、9月29日(金)17～18時もしくは9月30日(土)11～12時の間に行われます。

P001 佐藤善輝 (産総研) : 茨城県常総市石下周辺における鬼怒川のクレバススプレー堆積物	P015 大和広明 (長野県環境保全研) ほか: 長野市における百葉箱でのヒートアイランド現象の実態把握とその観測精度
P002 森野泰行 (滋賀県立米原高) : マキノ断層による流路の変形と石田川・百瀬川の河川争奪プロセス	P016 上田有佑* (立正大・院)・白木洋平 (立正大) : GISを用いた熱帯低気圧の発生位置の特徴に関する研究—台風への発達前に着目して
P003 岡岳宏* (東京大・院)・須貝俊彦 (東京大) : 第四紀後期の烏川中流域の段丘発達と地殻変動	P017 萩谷嵐* (首都大・院)・高橋日出男 (首都大) : 台風による住宅被害の地域分布の特徴とその経年変化傾向
P004 須貝俊彦 (東京大) : 中期更新世以降の濃尾傾動地塊運動と濃尾平野の埋積過程	P018 猪狩彬寛* (法政大・学) ほか: 浅間山周辺地域の水環境に関する研究 (3)
P005 関口辰夫 (国土地理院) ほか: 火山土地条件図「栗駒山」における「地獄釜」火口について	P019 堀内雅生* (法政大・学) ほか: 箱根山噴火(150629)後の周辺水環境に関する研究(3)
P006 箕田友和* (九州大・院)・永迫俊郎 (鹿児島大) : 火山灰編年からみた高隈山地の斜面安定性とブナ林の分布	P020 水木千春*・朴 恵淑 (三重大) : 大学生の自然災害に対する危険認知と防災教育の必要性に関する一考察—三重大学生を対象として
P007 中田 高 (広島大名誉教授) ほか: 5mDEM画像の判読にもとづくフィリピン群島の海成段丘の分布と地殻変動に関する考察 (予報)	P021 春山成子*・萩野良輔 (三重大) : 楠地区における水関連災害と防災認識について
P008 青木 久 (東京学芸大) ほか: 三浦半島荒崎海岸における波食棚の形成高度に関する一考察	P022 SAYED Marju Ben* (Mie Univ., Grad Student) & HARUYAMA Shigeko (Mie Univ.): Evaluation of Non-structural Flood Mitigation in Greater Dhaka
P009 近藤玲介 (皇學館大) ほか: 北海道北部頓別平野の沿岸部における低地の地形発達史	P023 青山雅史 (群馬大) : 鬼怒川・小貝川低地における人為的土地改変による洪水、液状化災害に対する脆弱化過程
P010 高橋未央 (弘前大) ほか: 青森平野東部の浜堤列の形成年代—沢田遺跡におけるボーリングコアからの考察	P024 佐藤 浩 (日本大) : 四川省新磨村の2017年崩壊斜面のSAR干渉画像の判読
P011 水谷光太郎 (信州大・院) : 三重県中部布引山地東縁断層帯東部区間千里断層の活動性	P025 立入 郁 (海洋研究開発機構) ほか: 乾燥地災害学の体系化 (3) 災害管理への展開
P012 小松原 琢 (産総研) : 北近畿～中国地方の活断層の特徴とその原因	P026 飯島慈裕 (三重大) ほか: 乾燥地災害学の体系化 (4) 周辺地域への展開
P013 神居幸恵* (日本大・院)・森島 済 (日本大) : 東根市におけるオウトウ開花期間の天候とその出荷量に対する影響	P027 篠田雅人 (名古屋大) ほか: 乾燥地災害学の体系化 (5) 人畜健康学への展開
P014 田上善夫 (富山大名誉教授) : 小氷期における強風災害の変動と夏季の気候状態について	

第1・2日目 9月29・30日（金・土）

第10会場（ポスター発表）

ポスター発表は、9月29日（金）13～18時までと9月30日（土）9～12時まで、第10会場で行います。発表者による説明は、9月29日（金）17～18時もしくは9月30日（土）11～12時の間に行われます。

P028 山田周二（大阪教育大）：大阪平野周縁部における石垣の分布と地形との関係	P041 金 玟辰（北海道教育大）ほか：ケイパビリティ論による力強い学問的知識に基づく地理カリキュラムの構築—地理教員養成・研修プログラムの国際共同研究と日本での展望
P029 茗荷 傑（首都大）：角海部落の土地機能に関する研究	P042 石田尚子*（三重大・院）・朴 恵淑（三重大）：社会環境の変化における労働意識を子どもへの経済教育から問い直す
P030 桐村 喬（皇學館大）：名字の構成比に基づいた市区町村単位での地域分類	P043 山本隆太（静岡大）ほか：システムアプローチによる「自然と人間の関係」を総合的に考える地理教育実践
P031 太田 慧*・菊地俊夫（首都大）：東京・小平市における購買行動の地域特性	P044 川添 航（筑波大・院）ほか：茨城県土浦市おおつ野におけるニュータウン開発と再生
P032 板谷侑生（北海学園大・学）：一般廃棄物焼却施設の選択的統廃合—北海道におけるコストに着目した事例	P045 久井情在（東京大・院）：広域市町村圏を基準とした「平成の大合併」分析
P033 田中雅大（学振PD・名古屋大）：日本における触地図の社会的位置付け	P046 平野勇二郎*・一ノ瀬俊明（国立環境研）：全国主要都市における交通手段および移動距離の推計と都市間比較
P034 栗栖悠貴（国土地理院）ほか：DEMを利用した主題図の整備と活用	P047 菊池慶之*（島根大）・手島健治（日本不動産研究所）：日本における不動産証券化の空間的展開
P035 石川和樹*（首都大・院）・中山大地（首都大）：旧住所への逆ジオコーディング機能とGoogle Maps APIを利用した「近代東京ジオコーディングシステム」の改良	P048 山神達也（和歌山大）：和歌山県の人口が継続的に減少し始めるまでの過程についての分析
P036 野中直樹*（東京電機大・院）・岩井将行（東京電機大）：IoT機器とWebサービスのマッシュアップによる遠隔地セキュリティシステムの実装	P049 山内昌和（早稲田大）ほか：回帰木による人口移動と結婚・出生行動の系列パターンの分類
P037 上芝卓也（国土地理院）ほか：災害リスク情報の効果的な周知方法について—国土交通省ハザードマップポータルサイトの事例	P050 加藤政洋（立命館大）ほか：嘉手納基地における家族住宅の建設—土建会社の現場写真にもとづく景観復原
P038 野中健一（立教大）ほか：猿害対策におけるサル追い払い支援システムの運用と課題	P051 大平晃久（長崎大）：関東地方における米軍基地跡地の記憶と景観
P039 梶山貴弘（日本大・研）：地理教材としてのArcGISを用いた土地被覆分類図の作成	P052 喜馬佳也乃（筑波大・院）ほか：筑波山門前町における観光空間の変容と特性（1）来訪者の特性や交通媒体の変化に着目して
P040 田中 圭*（日本地図センター）ほか：200グラム未満の市販ドローンを用いた低空撮影と地図作成の可能性	P053 加藤ゆかり（筑波大・院）ほか：筑波山門前町における観光空間の変容と特性（2）観光関連施設の経営形態に着目して

第1・2日目 9月29・30日（金・土）

第10会場（ポスター発表）

ポスター発表は、9月29日（金）13～18時までと9月30日（土）9～12時まで、第10会場で行います。発表者による説明は、9月29日（金）17～18時もしくは9月30日（土）11～12時の間に行われます。

- P054 中岡裕章（日本大・院）：群馬県みなかみ町におけるエコツーリズムの意義と課題
- P055 辻 保彦（辻製油）ほか：地域資源の活用を基盤とする地域中核企業の役割—高知県安芸地域における「柚子オイル」事業の例
- P056 渡辺隼矢（筑波大・院）ほか：土浦市田村地区におけるレンコン生産地域の存立基盤
- P057 両角政彦（都留文科大）：園芸施設被害の発生による産地と卸売市場への影響の地域差
- P058 坂上伸生（茨城大）・渡邊眞紀子*（首都大）ほか：福島県駒止湿原開拓農地跡における植生回復に関する土壌調査
- P059 坂上伸生（茨城大）ほか：平成27年9月関東・東北豪雨の影響を受けた農作物の無機元素組成に関する調査報告
- P060 横山俊一*・井上直人（信州大）：長野県伊那谷の横井戸—信大農学部 の事例
- P061 佐藤廉也（大阪大）：小規模社会における知識の獲得プロセスと性・年齢差—「マジヤンの森」における野生植物利用知識調査
- P062 木本浩一（関西学院大）ほか：保護区システムの現地化と森林「周辺域」の成立
- P063 土居晴洋（大分大）ほか：持続可能性の観点から見た現代インド農村研究の課題
- P064 辻 貴志（佐賀大）：フィリピン・ラグナ州におけるスイギュウの乳のチーズ加工